

科学研究費による外来種研究

※データベースKAKENからキーワードが研究概要に「外来種」とある平成17年度以降のものを検索して抽出した

※1)外来種の生物学的な調査研究、2)外来種の侵入状況及び被害に係る調査研究、3)外来種の防除と管理に係る調査研究、4)国内外来種の現状と対策に係る調査研究、5)導入に伴う遺伝的攪乱に係る調査研究、6)その他の調査研究

研究課題	代表者	研究機関	研究期間	研究種目	研究分野	※1	※2	※3	※4	※5	※6	外来種問題関連無し
外来種によるオオサンショウウオの遺伝子汚染の実態把握	松井 正文	京都大学	2011年4月28日～2014年3月31日(予定)	基礎研究(C)	資源保全学		○			○		
長期的シカ生息域における照葉樹林の生物多様性再生と外来種拡散に関する研究	前迫 ゆり	大阪産業大学	2011年4月28日～2014年3月31日(予定)	基礎研究(C)	資源保全学		○					
侵略的外来種ソウシチョウと在来生物群集の関係はシカ密度増加でどのように変化するのか	佐藤 重徳	独立行政法人森林総合研究所	2011年4月28日～2014年3月31日(予定)	基礎研究(C)	森林科学		○					
外来種アメリカカンザシアリの繁殖様式解明と総合防除法の確立	板倉 修司	近畿大学	2011年4月28日～2014年3月31日(予定)	基礎研究(C)	木質化学	○		○				
地域の野草の写真を掲載した下敷きによる児童の自然についての意識の変容に関する研究	田 明男		2010年度	奨励研究	教育学・教育社会学						○	
再生可能な資源や地域の自然の教材化と学習プランの開発	宇野 秀夫		2010年度	奨励研究	教科教育学II(理科系)						○	
ブタクサとブタクサハムシを用いて、外来種の遺伝的・可塑的反応を検証する	深野 祐也	九州大学	2010年度～2011年度	特別研究員奨励費	生態・環境	○						
南極における陸上生物多様性の保全に向けた、外来種の移入プロセスに関する研究	辻本 恵	総合研究大学院大学	2010年度～2011年度	特別研究員奨励費	資源保全学		○					
系外資源流入と生態系エンジニアが引き起こすメタ群集のレジームシフト	西嶋 翔太	東京大学	2010年度～2011年度	特別研究員奨励費	生態・環境		○					
農業水域に生息する魚類個体群の保全遺伝生態学的研究	西田 一也	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構	2010年度～2011年度	特別研究員奨励費	農業土木学・農村計画学				○	○		
環境変化がオットンガエルに与える影響経路の解明:生活史段階を考慮した生物保全	岩井 紀子	独立行政法人森林総合研究所	2010年度～2011年度	特別研究員奨励費	資源保全学		○					
侵略的外来種アルゼンチンアリ侵入に伴う生態リスクの真実と嘘	伊藤 文紀	香川大学	2010年4月1日～2013年3月31日(予定)	基礎研究(C)	資源保全学		○					
外来ベッコウの生態リスク評価と管理へのDNAバーコーディングの応用	荒谷 邦雄	九州大学	2010年4月1日～2013年3月31日(予定)	基礎研究(C)	資源保全学			○				
侵略的外来種アルゼンチンアリにおけるスーパーコロニーの進化と維持機構の解明	井上 真紀	独立行政法人国立環境研究所	2010年4月1日～2013年3月31日(予定)	基礎研究(C)	生態・環境	○						
日本発侵略的外来植物の分布拡大に伴う適応進化、侵略性発現に関する研究	上原 浩一	千葉大学	2010年4月1日～2013年3月31日(予定)	基礎研究(B)	資源保全学	○						
疾患抵抗性を示す在来種家畜におけるサイトカインストーム回避機序の解明	今内 寛	北海道大学	2010年4月1日～2013年3月31日(予定)	基礎研究(B)	基礎獣医学・基礎畜産学						○	
トルコ・韓国・日本における森林資源の高次元多機能経済評価と国際生態系保全政策分析	吉本 敦	統計数理研究所	2010年4月1日～2013年3月31日(予定)	基礎研究(A)	環境影響評価・環境政策						○	
動物顔面パターン認識装置を用いた里山の食肉目群集の保全	金子 弥生	東京農工大学	2010年4月1日～2013年3月31日(予定)	挑戦的萌芽研究	資源保全学			○				
侵入外来種の侵入・定着時の進化的応答の検出:全ゲノム配列決定によるアプローチ	河田 雅圭	東北大学	2010年度～2011年度	挑戦的萌芽研究	生態・環境	○						
アジア経済発展とグローバル化に伴う新たな畜産・食品リスクと効果的制御法の開発	細野 ひろみ	京都大学→東京大学	2010年4月1日～2013年3月31日(予定)	若手研究(A)	農業経済学						○	
島嶼における生物多様性優先保全地域の選定および外来生物の影響評価手法の開発	郡 麻里	首都大学東京	2010年度～2011年度	若手研究(B)	環境影響評価・環境政策						○	
外来種による繁殖干渉がもたらす在来雑草の進化:種子散布共生と生育環境の変化	高倉 耕一	大阪市立環境科学研究所	2010年4月1日～2013年3月31日(予定)	若手研究(B)	資源保全学		○					
メタ個体群の空間構造に不確実性をもつ外来種の最適管理戦略	横溝 裕行	独立行政法人国立環境研究所	2010年4月1日～2013年3月31日(予定)	若手研究(B)	生態・環境						○	
生物多様性保全に配慮した農業技術の普及に関する研究	西村 武司	滋賀大学	2010年4月1日～2013年3月31日(予定)	若手研究(B)	農業経済学			○				
生物多様性保全に向けた環境教育プログラムの作成-外来生物問題の理解のために-	高桑 正敏	神奈川県立生命の星・地球博物館	2010年4月1日～2013年3月31日(予定)	基礎研究(B)	科学教育						○	
地域との協働と空間モデルによる淡水生態系衰退の複合影響要因と適応策に関する研究	鷲谷 いつみ	東京大学	2010年4月1日～2014年3月31日(予定)	基礎研究(B)	資源保全学		○					
外来種がすみにくく在来種がすみやすい琵琶湖岸修復のための実験的研究	西野 麻知子	滋賀県琵琶湖環境科学センター	2010年4月1日～2013年3月31日(予定)	基礎研究(B)	資源保全学				○			
空間的統合モデルを用いた外来生物リスク軽減の経済分析	木島 真志	東北大学→琉球大学	2009年度～2010年度	若手研究(B)	環境影響評価・環境政策						○	
外来種ミツバチとその随伴性寄生種がニホンミツバチに与える影響に関する研究	高橋 純一	京都大学→京都産業大学	2009年度～2010年度	若手研究(B)	生態・環境		○					
食物網構造の進化を決める環境条件の理論的解明	瀧本 岳	東邦大学	2009年度～2010年度	若手研究(B)	生物多様性・分類		○					
雑種性帰化タンポポの形成過程の解明	櫛田 敏宏		2009年度	奨励研究	生物学I(植物)							
幼虫の固有の形態を比較する	成田 智哉		2009年度	奨励研究	生物学II(動物)						○	
河川改修が在来種ヤマメと外来種ブラウントラウトの種間競争に与える影響の解明	長谷川 功	独立行政法人水産総合研究センター	2009年度～2010年度	特別研究員奨励費	水産学一般	○	○					
生物多様性の喪失をもたらす外来樹種ニセアカシアの種子繁殖メカニズムの解明	小山 浩正	山形大学	2009年度～2011年度	基礎研究(C)	森林科学	○						
熱帯地域における保護区の生物多様性保全に関する研究	鈴木 英治	鹿児島大学	2009年4月1日～2013年3月31日(予定)	基礎研究(B)	資源保全学		○					
南千島における絶滅危惧種・外来生物種の現状調査	高橋 英樹	北海道大学	2009年4月1日～2013年3月31日(予定)	基礎研究(B)	生物多様性・分類		○					
ミシシッピ湿地林のハリケーン後遺症と回復に関する時空間的、生態学的、生理学的研究	山本 福壽	鳥取大学	2009年度～2011年度	基礎研究(B)	森林科学			○				
国内外来種オキナワキノボリトカゲの生態系への影響評価に関する研究	岩本 俊孝	宮崎大学	2009年度～2011年度	基礎研究(C)	環境影響評価・環境政策					○		
移入浮漂植物の拡大は水生生物群集にどのようなインパクトを与えるか	永坂 正夫	金沢星稜大学	2009年度～2011年度	基礎研究(C)	資源保全学		○					
捕獲効率と不確実性を考慮した外来種管理の経済分析	小谷 浩示	国際大学	2009年度～2011年度	基礎研究(C)	応用経済学						○	
熱帯モンスーン林における天然林から人工林への転換が流域水資源量に及ぼす影響の調査	立石 麻紀子	九州大学	2009年度～2010年度	特別研究員奨励費	森林科学	○						
在来訪花昆虫の減少が小笠原諸島の樹木の有性繁殖におよぼす影響の解明	大谷 雅人	独立行政法人森林総合研究所	2009年度	特別研究員奨励費	資源保全学		○					
タモロコ属魚類の適応的形態変異をもたらす環境要因と遺伝的基盤に関する研究	柿岡 諒	京都大学	2009年度～2011年度	特別研究員奨励費	進化生物学				○	○		
外来植物が土壌分解系を介して生態系に影響を与えるメカニズムの解明	黒川 純子	横浜国立大学→東北大学	2009年度～2011年度	若手研究(B)	資源保全学		○					
外来樹木の逸出による在来種への生態遺伝学的影響	亀山 慶晃	東京農業大学	2009年度～2011年度	若手研究(B)	資源保全学		○			○		
未判定外来水生植物の逸出防止に向けた基礎研究	中嶋 佳貴	岡山大学	2009年度～2011年度	若手研究(B)	作物学・雑草学			○				
文理融合に基づく淡水生態系の生物多様性保全・管理手法の開発	高村 典子	独立行政法人国立環境研究所	2009年度～2011年度	基礎研究(B)	資源保全学						○	
大規模遺伝子データセットに基づく西日本の淡水魚類相形成史の総合的解明	渡辺 勝敏	京都大学	2009年度～2011年度	基礎研究(B)	生物多様性・分類				○	○		
自然史系博物館の連携研究員養成法の研究	岩崎 邦男	兵庫県立人と自然の博物館	2008年度～2010年度	基礎研究(C)	博物館学						○	
配偶干渉による外来種の侵入拡大の説明	西田 隆義	京都大学→滋賀県立大学	2008年度～2010年度	萌芽研究→挑戦的萌芽研究	生態・環境	○	○					
環境変動下における、小笠原外来種アカギの病原菌に対する抵抗性-固有種との比較	山路 恵子	筑波大学→茨城大学→筑波大学	2008年度～2010年度	若手研究(B)	環境技術・環境材料	○						
砂防堰堤建設に伴う無機的環境の変化による漢畔域樹木群落構造の変化の解明	黒河内 寛之	東京大学	2008年度～2010年度	特別研究員奨励費	林学・森林工学	○						
アルゼンチンアリのスーパーコロニーと分布拡大/在来アリ駆逐メカニズムに関する研究	砂村 栄力	東京大学	2008年度～2010年度	特別研究員奨励費	応用昆虫学	○	○					
外来魚ブラックバスの防除法開発と問題解決に向けた学際的研究	角田 裕志	東京農工大学	2008年度～2009年度	特別研究員奨励費	資源保全学	○		○				
生物群集の進化に関する理論的研究	舞木 昭彦	九州大学	2008年度～2010年度	特別研究員奨励費	生態・環境		○					
外来捕食者と生息地変化が奄美大島の在来生物におよぼす複合的な影響	巨 悠哉	独立行政法人森林総合研究所	2008年度～2010年度	特別研究員奨励費	資源保全学		○					
環形動物多毛類カンザシゴカイ科の日本と豪州における比較分類学と外来種の多様性	西 栄二郎	横浜国立大学	2008年度～2009年度	特別研究員奨励費	生物多様性・分類	○	○					
農業用ため池の多面的機能と価値の評価に関する研究	西村 一彦	日本福祉大学	2008年度～2010年度	基礎研究(C)	環境影響評価・環境政策							
外来種チュウゴクオオサンショウウオの生態リスク評価	松井 正文	京都大学	2008年度～2010年度	基礎研究(C)	資源保全学			○				
里山における外来生物の侵入状況と在来昆虫へのリスク評価	石井 実	大阪府立大学	2008年度～2010年度	基礎研究(C)	資源保全学	○	○					
集団遺伝解析に基づく外来ザリガニの管理手法の開発	西川 潮	独立行政法人国立環境研究所→新潟大学	2008年度～2010年度	基礎研究(C)	資源保全学	○	○					
セイヨウオオマルハナバチ侵入イベントを利用した送粉生態系ネットワークの解明	石井 博	東京大学→富山大学	2008年度～2010年度	若手研究(B)	生態・環境	○	○					
遺伝情報を用いた外来生物種の分布拡大経路の推定	木村 恵	東京大学→富山大学	2008年度～2010年度	若手研究(B)	森林科学	○	○					
在来種家畜における抗病性因子の同定と遺伝子背景の解析	今内 寛	北海道大学	2008年度～2009年度	若手研究(B)	応用獣医学						○	
オオミカヤドリバエの寄主利用戦略-なぜ高知でオオミノガが絶滅しないのか-	荒川 良	高知大学	2008年度～2010年度	基礎研究(C)	応用昆虫学	○	○					
北海道の外来・在来樹木昆虫の地球温暖化に伴う拡大予測に関する基礎研究	原 秀穂	北海道立林業試験場	2008年度～2010年度	基礎研究(C)	森林科学	○	○				○	
外来移入種サギグロタマツメタの移入・アザリ害実態の把握と防除・駆除方法の検討	大越 健嗣	石巻専修大学→東邦大学	2008年度～2010年度	基礎研究(C)	水産学一般	○	○	○				
外来牧草の雑草化防止に及ぼす草地の種多様性の影響に関する研究	西脇 亜也	宮崎大学	2008年度～2010年度	基礎研究(C)	畜産学・草地学		○	○				
不均質環境における生物種の生存競争の数理解析	中村 健一	電気通信大学	2008年度～2011年度	基礎研究(C)	数学一般(含確率論・統計学)		○					
群集動態に対する安定化メカニズムと等質化メカニズムの相対的重要性の評価方法の開発	野田 隆史	北海道大学	2008年度～2011年度	基礎研究(C)	生態・環境		○					
南伊豆地域に生息する野生動物相調査	村瀬 一隆	東京大学→富山大学	2008年度	奨励研究	農学・水産学		○					
生態系間を横断する侵入溶融の検証	宮下 直	東京大学	2007年度～2008年度	萌芽研究	生態・環境	○	○					
数理生態モデルを用いた外来魚ブラックバスの管理システムの開発	千賀 裕太郎	東京農工大学	2007年度～2009年度	萌芽研究→挑戦的萌芽研究	農業土木学・農村計画学		○	○				
重信川河口及び塩屋海岸における絶滅危惧海浜植物群落の保全・再生活動	玉井 修二		2007年度	奨励研究	農学・水産学						○	
非意図的な移入種による生態系攪乱機構:弱小移入種は多様性を下げるのか	斎藤 裕美	北海道東海大学→東海大学	2007年度～2009年度	若手研究(B)	環境影響評価・環境政策				○			
島嶼における生物多様性保全のための侵入種リスク対策に関する研究	郡 麻里	独立行政法人国立環境研究所	2007年度～2008年度	若手研究(B)	環境影響評価・環境政策						○	
湖沼生態系の健全化レジームシフトにむけた水生植物の萌芽・定着条件の研究	西廣 淳	東京大学	2007年度～2009年度	若手研究(B)	資源保全学		○	○				

※1) 外来種の生物学的な調査研究、2) 外来種の侵入状況及び被害に係る調査研究、3) 外来種の防除と管理に係る調査・研究 (■セルを黄色く着色)、4) 国内外来種の現状と対策に係る調査研究、5) 導入に伴う遺伝的攪乱に係る調査研究、6) その他の調査研究												
研究課題	代表者	研究機関	研究期間	研究種目	研究分野	※1	※2	※3	※4	※5	※6	外来種問題関連無し
外来植物が在来植物を駆逐するメカニズムとしての繁殖干渉に関する研究	高倉 耕一	大阪市立環境科学研究所	2007年度～2008年度	若手研究(B)	生態・環境		○					
大学の新たな機能の活性化による大学生を対象とした地域環境保全教育手法の開発と実	小堀 洋美	武蔵工業大学	2007年度～2008年度	基礎研究(C)	科学教育						○	
西表島亜熱帯林における陸性等脚類の多様性維持機構および生態系機能に果たす役割	唐澤 重考	独立行政法人森林総合研究所	2007年度	特別研究員奨励費	林学・森林工学	○						
不確実性下における順応的資源管理:理論と実際	柿中 真	国際大学	2007年度～2008年度	基礎研究(C)	応用経済学						○	
特定外来種ブルーギルの日本定着成功要因についての進化生物学的研究	河村 功一	三重大学	2007年度～2009年度	基礎研究(C)	生態・環境	○						
里山のため池を利用する在来種カメと外来種カメの資源競争および共存機構の解明	森 貴久	帝京科学大学	2007年度～2009年度	基礎研究(C)	生態・環境	○	○					
照葉樹林の植生動態に対するシカと外来植物の影響と生物多様性保全に関する研究	前迫 ゆり	奈良佐保短期大学→大阪産業大学	2007年度～2009年度	基礎研究(C)	生態・環境		○					
高山帯・亜高山帯における侵入雑草の予防に関する研究	中山 祐一郎	大阪府立大学	2007年度～2010年度	基礎研究(C)	作物学・雑草学	○	○	○				
高解像度衛星画像を用いた尖閣諸島魚釣島のヤギによる生態系変化の追跡	横畑 泰志	富山大学	2007年度～2008年度	基礎研究(C)	環境影響評価・環境政策		○					
外来個体群の侵入・分散に伴う淡水エビ類の遺伝子汚染と共生システムの攪乱	西野 麻知子	滋賀県琵琶湖・環境科学研究センター→滋賀県琵琶湖環境科学研究センター	2007年度～2009年度	基礎研究(B)	資源保全学	○	○			○		
雑種形成に着目した生物多様性の進化維持機構の理論的研究	瀧本 岳	東邦大学	2007年度～2008年度	若手研究(スタートアップ)	生物多様性・分類						○	
再生すべき生態系の抽出、復元手法ならびに科学的評価に関する学際的研究	中村 太士	北海道大学	2007年度～2010年度	基礎研究(A)	林学・森林工学→森林科学			○			○	
移入樹種植林がもたらす侵入溶解の群集レベルでの解明	尾崎 研一	独立行政法人森林総合研究所	2007年度～2009年度	基礎研究(B)	林学・森林工学→森林科学		○					
不稔個体を用いた外来イネ科草本の駆除に関する研究	齊藤 陽子	東京大学	2006年度～2009年度	萌芽研究→挑戦的萌芽研究	環境農学			○				
外来種マングースが奄美大島の動物群集に及ぼす影響-在来種の持続的維持に向けて	亘 悠哉	東京大学	2006年度～2007年度	特別研究員奨励費	資源保全学		○					
外来サケ科魚類の侵入に対する予防と対策の確立	山本 俊昭	日本獣医生命科学大学	2006年度～2008年度	若手研究(B)	日本獣医生命科学大学	○	○	○				
河川における絶滅危惧ザリガニの機能的役割:地域間ならびに地域個体群間比較	西川 潮	独立行政法人国立環境研究所	2006年度～2007年度	若手研究(B)	独立行政法人国立環境研究所						○	
島嶼生態系における侵入種の拡散および適応機構の解明	山下 直子	独立行政法人森林総合研究所	2006年度～2009年度	若手研究(B)	林学・森林工学→森林科学	○	○					
外来シジミ群の分子識別法の開発-琵琶湖固有種セタシジミの保全を目指して-	細井 公富	長浜バイオ大学	2006年度～2008年度	若手研究(B)	水産学一般	○	○			○		
疾患感受性を規程する牛サイトカイン遺伝子の多型解析	今内 寛	北海道大学	2006年度～2007年度	若手研究(B)	応用獣医学						○	
複数の外来種がいる群集プロセスを考慮した奄美大島の森林生態系管理	石田 健	東京大学	2006年度～2008年度	基礎研究(B)	資源保全学		○					
西表島を中心とする琉球列島島嶼群の生物学的構造とその保全に関する研究	伊澤 雅子	琉球大学	2006年度～2009年度	基礎研究(B)	資源保全学		○					
外来遺伝子侵入のリスク評価と在来資源の保全管理手法の解明:アサリをモデルとして	北田 修一	東京海洋大学	2006年度～2008年度	基礎研究(B)	水産学一般					○		
コケ植物を指標とした生態系評価手法の開発-生物共生型都市緑地計画を目指して	大石 善隆	京都大学	2006年度～2007年度	特別研究員奨励費	環境影響評価・環境政策		○				○	
野生生物集団の最適保全戦略理論の展開	横溝 裕行	横浜国立大学	2006年度～2007年度	特別研究員奨励費	生態・環境						○	
外来コガネムシ上科甲虫の生態リスク評価	荒谷 邦雄	九州大学	2006年度～2008年度	基礎研究(C)	資源保全学	○	○			○		
近畿における雑種タンポポの形成・拡大過程の解明	伊東 明	大阪府立大学	2006年度～2008年度	基礎研究(C)	資源保全学	○	○			○		
陸上脊椎動物と線虫の宿主-寄生体関係に関する保全医学的な試み	浅川 満彦	酪農学園大学	2006年度～2009年度	基礎研究(C)	資源保全学						○	
外来海産軟体動物2種が在来生物群集に及ぼす影響の実験的解明	岩崎 敬二	奈良大学	2006年度～2008年度	基礎研究(C)	資源保全学		○					
日本産コイ(コイ目コイ科)のルーツ解明と保全へのシナリオ	瀬能 宏	神奈川県立生命の星・地球博物館	2006年度～2008年度	基礎研究(C)	資源保全学	○				○		
侵入生物の時空間伝播パターンに関する数理的研究:環境変動と分断化の効果	重定 南奈子	同志社大学	2006年度～2008年度	基礎研究(C)	生態・環境		○					
黄土高原の森林再生を主眼とした自生樹種の生育特性と環境ストレス耐性に関する研究	山本 福壽	鳥取大学	2005年度～2006年度	特別研究員奨励費	林学・森林工学	○						
近縁外来種の侵入が在来種に与える生態・遺伝的影響に関する実証的研究	河村 功一	三重大学	2005年度～2006年度	基礎研究(C)	生態・環境					○		
最適潜水行動の比較による在来種カメと外来種カメの資源競争および共存機構の解明	森 貴久	帝京科学大学	2005年度～2006年度	基礎研究(C)	生態・環境	○	○					
湖沼・湿地生態系の制御機構を大きく変化させる要因の抽出と変化のプロセスの解明	高村 典子	独立行政法人国立環境研究所	2005年度～2006年度	基礎研究(C)	生態・環境		○					
新規侵入外来種であるアメリカカンザイシロアリの系統発生に関する分子生物学的研究	板倉 修司	近畿大学	2005年度～2006年度	基礎研究(C)	林産科学・木質工学	○	○					
ブラックバスの栄養評価と機能性成分の検索	中井 玲子	兵庫大学	2005年度～2007年度	若手研究(B)	食生活学						○	
休耕田ビオトープを学校教育や社会教育に利用するための設営及び管理に関する研究	保科 英人	福井大学	2005年度～2007年度	若手研究(B)	科学教育						○	
中山間地における外来種モニタリングを利用した総合的な学習プログラムの開発	畑田 彩		2005年度	奨励研究	生物学I(植物)						○	
流域スケール空間情報を用いた細粒土砂汚染域の推定に関する基礎的研究	山田 浩之	北海道大学	2005年度～2006年度	若手研究(B)	環境農学		○					
サケ科魚類における在来種から外来種への置換のメカニズムの解明	長谷川 功	北海道大学	2005年度～2006年度	特別研究員奨励費	環境影響評価・環境政策		○					
分解過程を制御する落葉の質の多様性が森林生態系栄養塩循環に影響を与える機構の解明	黒川 紘子	総合地球環境学研究所→東北大学	2005年度～2007年度	特別研究員奨励費	生態・環境		○					
子どもの遊びと環境学習を目的とした環境設計と教材開発に関する実践的研究	伊東 啓太郎	九州工業大学	2005年度～2006年度	基礎研究(C)	科学教育						○	
送粉共生系におけるinvasional meltdownの検証	杉浦 直人	熊本大学	2005年度～2006年度	萌芽研究	資源保全学	○	○					
在来・外来種間の遭遇経験の欠如と獲得が生物学的侵入において果たす役割に関する理	近藤 倫生	龍谷大学	2005年度～2006年度	若手研究(B)	生態・環境		○					
地域間DNA多型解析によるナラ枯れの媒介者カシノナガキイムシの外来種仮説の検証	鎌田 直人	金沢大学→東京大学	2005年度～2007年度	基礎研究(B)	林学・森林工学	○						
ニュージーランドにおける外来菌根菌のナンキョクブナ林侵入定着に関する研究	田中 千尋	京都大学	2005年度～2008年度	基礎研究(B)	林学・森林工学→森林科学	○						

※科研費の外来種研究では防除、管理に係る研究は少なく、16件(13.6%)のみであった。
件数 40 65 16 5 14 24
全体における割合 34 55.1 13.6 4.2 11.9 20.3